

埼玉県市民ネットワークは 参院選全国比例区に挑戦する **大河原まさこ**さん

を応援しています！

かざらない いばらない いつも市民目線
こんな国会議員はみたことない！

活動の原点は台所

大河原まさこさんが政治に目覚めたのは、生協での共同購入。食の安全や石けん運動を通して「暮らし」と「政治」のつながりを体験しました。その後、東京都の食品安全条例の制定の運動をきっかけに仲間に推されて都議会議員となりました。

安全な水を守る地下水保全や子どもの権利擁護などの取り組みは、都議から参議院議員としての活動に引き継がれました。

初出馬の参院選では、次の3つを熱く訴えました。

- ・政治の現場は議会ではなく、毎日の暮らしの中にある
- ・大事なことは市民が決める
- ・国会に市民の議席を確保

参議院 6年間でこんなにやった！

2007年～2013年の6年間、抜群の行動力で「市民の議席」をフル活用。一番働いた議員の一人です。

★「国会議員の通信簿」 全参議院議員中7位！
(2013年)

★「公共事業チェック議員の会」事務局長として、ハツ場ダムやスーパー堤防など、全国のムダな公共事業を見直す活動、児童福祉法の改正、子どもシェルター支援、消費者庁新設、食品表示（添加物、遺伝子組み換えなど）、有機農業の推進、TPP 反対、福島原発被災者支援、脱原発社会に向けて再生可能エネルギーの推進、ワーカーズ法の制定などに積極的に取り組みました。



大河原まさこプロフィール

- 1953年 名古屋市生まれ 神奈川で育つ
- 1979年 結婚。千葉で生活クラブ生協に加入
- 1988年 世田谷区に転居
東京都に食品安全条例の制定を求める直接請求運動や環境を守る運動に参加
- 1993年 東京生活者ネットで都議会議員初当選
3期 10年務める
- 1999年 東京生活者ネット代表委員 以後6年間
- 2007年 参議院選東京選挙区でトップ当選
- 現在 リベラル市民政治研究会代表
自治体議員立憲ネットワーク顧問
環境まちづくり NPO 運営委員など

今こそ、まさこが必要です！

「戦争法」と言われる安保法制のもと、いのちと平和が脅かされています。軍事予算は過去最高。福祉と教育予算は貧しいまま。何より国の骨格である憲法が危機に瀕しています。

こんな政治にしっかり歯止めをかけられる人が大河原まさこさん。

最大野党に生活者の視点をもつ、実行力
100%のしっかりした議員が必要です。



埼玉県市民ネットワーク 共同代表 大野洋子・山田裕子
〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト内
mail seijisanka@saitamaken-shimin.net